

克己心

～自分に負けない心～

夢を語り、夢を追う生徒
笑顔 続ける 支え合う

【学校だより】
平戸市立平戸中学校
令和8年6月16日
文責 原田 誠 第9号

学校をより良い場所にするために—生徒たちの声から見たもの—

最近、学校内で器物破損が続いています。まずは写真を見てください。



これまでも器物破損はありました。しかし、その中には、自ら「自分が壊してしまいました」と申し出た生徒もいました。また、関係する生徒たちが正直に話をしてくれたことで、事実が明らかになったこともありました。

今回、私は全校生徒に対して、「今の平戸中学校をどう思うか」「どのような学校にしたいか」を問いかけました。寄せられた多くの意見から見てきたのは、

「安心して過ごせる学校にしたい」「みんなが楽しく学べる学校にしたい」
「失敗しても正直に話せる学校にしたい」「ルールを守り、お互いを大切にできる学校にしたい」

という生徒たちの強い願いでした。
一方で、

「真面目に頑張っている人の時間が奪われてしまう」「授業に集中できなくなる」
「安心して学校生活を送れなくなる」「何もしていない人まで疑われてしまう」

と心を痛めている生徒も少なくありませんでした。
器物破損によって失われるのは、物だけではありません。

仲間への信頼。安心して学べる環境。学校生活の落ち着いた雰囲気。

そうした目に見えない大切なものも傷ついてしまいます。

しかし、私は今回の生徒たちの声を読み、平戸中学校の未来に希望を感じました。多くの生徒が学校をより良くしたいと願い、仲間を大切にしたいと考えているからです。誰にでも失敗や過ちはあります。大切なのは、失敗をしないことではなく、失敗や過ちにどう向き合うかです。もし誤った行動をしてしまったとしても、正直に話し、自分の行動に責任を持つことは、決して簡単なことではありません。しかし、その勇氣ある一歩こそが人を成長させます。

学校は、生徒を責め立てたり追い込んだりする場所ではありません。一人一人の成長を支え、過ちから学び、より良い方向へ歩んでいけるよう見守り続ける場所です。私たち教職員は、生徒たちの可能性を信じています。そして、保護者の皆様と力を合わせながら、生徒一人一人が安心して学び、正直に行動し、互いを大切にできる学校づくりを進めてまいります。

生徒たちが願う

「安心して過ごせる学校」「正直に話せる学校」「『できることを当たり前』でできる学校」

の実現に向けて、これからも皆で力を合わせ、より良い平戸中学校を築いていきたいと思いません。